

概要	○ 令和8年7月28日（火）1627頃、熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生。 ○ 同日（28日）1730、熊本県知事から陸自第8師団長（北熊本・熊本）に対し、情報収集、人命救助、物資輸送、生活支援等に係る災害派遣要請があり、同時刻受理。 ○ 昨日（8月29日）現在、陸自第8師団を中心とする自衛隊員約5,100名態勢で活動。
----	---

昨日 （29日） の 自衛隊の 主な活動	【主な活動部隊等】 陸自第8後方支援連隊（北熊本・熊本）、陸自第8特殊武器防護隊（北熊本・熊本）、陸自西部方面後方支援隊（目達原・佐賀）、海自艦艇1隻（うらが）等 【給水支援活動（3市3箇所）】 ○ 給水車5両 ・ 八代市については、人工透析に必要な水が不足している病院への給水支援。 ・ 宇城市、宇土市については、入浴支援のための給水。 【入浴支援（3市3箇所）】 ＜宇城市（1箇所）＞ ○ 陸自第8後方支援連隊 ・ 小川防災拠点センターにて、シャワーによる入浴支援を、午後5時から午後11時まで実施。 ＜八代市（1箇所）＞ ○ 海自掃海母艦「うらが」、海自佐世保入浴支援隊、大湊入浴支援隊 ・ 八代港岸壁及び「うらが」内にて、シャワーと浴槽による入浴支援を、午後3時から午後9時30分まで実施。「うらが」内で洗濯支援、健康相談、充電支援を実施。 ＜宇土市（1箇所）＞ ○ 陸自第8後方支援連隊 ・ 宇土アリーナにて、シャワーによる入浴支援を、午後5時から午後10時まで実施。 【PFI船舶「はくおうⅡ」による生活支援】 ○ 8月29日は、休船日のため各種支援は一時停止。 ※8月30日から、5回目となる2泊3日の宿泊支援を開始予定 【連絡員の派遣状況】 ○ 熊本県庁等に、4箇所・延べ約10名派遣。	活動の様子  【宇城市】陸自による入浴支援の様子※8/5撮影  【八代市】海自「うらが」における入浴支援の様子※8/28撮影  【宇土市】入浴支援準備にあたる陸自隊員 ※8/14撮影
----------------------------------	---	--